

鬼は外、福は内!



2月3日、「鬼は外、福は内」と大きな声が今年も館内に響き渡りました。今年は赤鬼・青鬼に扮した職員に向かって、一週間前から皆さんと用意した新聞紙を丸めた大きな豆？を投げ、邪気を追い払いました。今年も良い年になりそうです。



まめまき



四季の杜新聞

2024年度
冬号
【No.010】
☆
四季の杜新聞
編集責任者 荒木



節分とは「季節を分ける」という意味があり、立春や立夏、立秋・立冬の前日が節分でした。特に立春は1年の始まりの日として尊ばれ、春の節分が一般的になったようです。古代中国の追儺(ついな)という悪魔を追い払う為の行事が起源のようで、豆を使って「魔を滅する」という意味で邪気を払ったようです。いつしか歳分だけ豆を食べる事で健康を祈るとい風習が根付き、四季の杜でも、皆さん、1粒を10歳と数え食べられ、邪気を払っていました。



1月27日(月)、代表の荒木と施設長の黒岩は、千葉県八千代市にある「52間のいいいさん家」に施設見学研修に行つて参りました。テレビ東京「新美の巨人たち」で取り上げられ、高齢者はもちろん、障害のある人や近所の子供が遊びに来て過ごす「共生型のデイサービス」として注目をされています。施設名にもなっている縁側に囲まれた施設で、建物は日本建築学会賞も受賞されています。代表の石井さんは「人の集まる施設」を目指し、拒むことなくいろいろな人を受け入れていくこのことです。この研修で多くの学びがありました。研修内容についてのお問い合わせは、荒木・黒岩まで。



株式会社
匠のケア

四季の杜
デイサービス

〒371-0031
前橋市下小出町
1丁目28-19

TEL 027-225-8011
FAX 027-225-8033



クリスマス会



職員によるウクレレ演奏



12月25日の週は「クリスマス会」を実施しました。職員が扮する日替わりのサンタクロース。今日は誰だろう？と付け髭の顔を覗き込まれていました。サンタクロースからのプレゼントには「いくつかになってもうれしいね」と喜んでいただけようです。今回は職員（神戸）によるウクレレの演奏もあり、「ジングルベル」「なごり雪」等、クリスマスソングの他、懐かしい曲に皆さん大合唱となりました。



今年は1月4日より営業。「今年もよろしくお願いいたします」と気持ち新たに新しい年を迎えました。早速お祝いの行事「新年会」を行いました。新年の挨拶から始まり、今年の催し物は「福笑い」。

「今年も良い年でありますように」

新年会



大きなおかめの顔枠に目や鼻・口のパーツを目隠しをし顔を作り上げて行きました。きれいに揃う人、目の位置が口元に、顔の左側にパーツ集中したり等面白い顔が出来上がり、今年も皆さんで笑って新年を迎えることができました。初日にはお祝い善を作り皆さまに食べていただきました。初詣は、近所の小出神社に希望者と出かけ、それぞれ今年一年の願いをし、お参りしました。



非常時の簡単蒸しパン

介護事業者にBCP（事業継続計画）の実施が義務づけられました。それに伴い、当事業所も災害の発生を想定し、12月20日に職員の研修を行いました。今回は、マニュアルの確認や紙コップとホットケーキミックスを使った非常食の作製と試食を行っています。また、非常時の簡易トイレや飲料水、トイレ用の水、感染症用のゴム手や消毒関係品、ハザードマップの確認等も行い、災害に備えました。



アメリカではトランプ大統領が再就任。アメリカファーストの政策をアメリカ国民が選択した訳である。私にとってアメリカという国は常に先進的なイメージであったが、今日のアメリカは後進しているイメージである。アメリカファーストを実践するために、パリ協定の離脱やD E I（多様性などの理念を退廃する政策）を次々と撤回。温室効果ガスの排出量世界第2位のアメリカ。近い未来のために気候変動対策は、今一刻を争うときである。世界の番人として秩序やルールを敷いてきた国はどこへ向かおうとしているのか？数年後、その評価が出るのでしょうか。

【荒木】